

2026 年度海洋音響学会研究発表会プログラム

第 1 日 5 月 18 日 (月)

10:00~10:10 実行委員長挨拶 森 和義

10:10~11:50 口頭発表Ⅰ 座長：長谷川浩平（北大）

26- 1 アマモ場に生息するホッケイエビへの音響テレメトリー手法適用性の評価

◎朱妍卉, 久保世里菜 (北大), 伊藤慶造 (水産研究・教育機構水産技術研究所), 岡田夏男, 川村洋平 (北大), 松本裕幸, 千葉晋 (東農大), 宮城亜紀 (アクアサウンド社), 南憲史, 宮下和士 (北大)

26- 2 北海道太平洋沖における計量魚群探知機と全周スキヤニングソナーで推定した浮魚類資源量の比較

◎渡邊柊斗 (北大水, 現東大新領域), 高橋竜三 (水産機構・技術研), 長谷川浩平, 閻乃箏, 向井徹 (北大院水)

26- 3 Density estimation of fisheries resources in Jinhae Bay using hydro-acoustic

◎Taegyeom Hwang, Kyoungsoon Lee, Seokgwon Choi (Pukyong National Univ.)

26- 4 多周波数音響プロファイラーによる道南太平洋における中深層の音響散乱層の観測

◎三木郁海, 向井徹, 長谷川浩平, 閻乃箏 (北大院水)

26- 5 Vocal responses of Finless porpoises (*Neophocaena asiaeorientalis*) to Acoustic Deterrent Devices

◎Sujung Kim, Kyoungsoon Lee, Jiyeon Kim (Pukyong National Univ.)

11:50~13:00 昼休み

13:00~13:30 総会

13:30~13:50 表彰式

13:50~14:00 休憩

14:00~15:30 ポスターセッション 座長：森 和義（防衛大）

26- 6 Estimating the target strength of sardine (*Sardinops sagax*) as a function of swimming orientation

◎Geunchang Park, Kyoyunghoon Lee (Pukyong National Univ.)

26- 7 Density estimation of major fisheries resources in the West Sea of south Korea using acoustic and trawl survey

◎Jayeon Choi, Dohun Kim, Jiyeon Moon, Kyoyunghoon Lee (Pukyong National Univ.)

26- 8 Analysis of acoustic scattering characteristics and distribution of Pacific herring (*Clupea pallasii*) using multi-frequency methods

◎Wooseok Oh, Geunchang Park, Kyoungsoon Lee (Pukyong National Univ.)

- 26-9 活スルメイカの音響散乱特性の検討
◎閻乃箏 (北大水), Euna Yoon (済州大), Jeonghoon Lee, Hyungbeen Lee (NIFS), 長谷川浩平, 向井徹 (北大院水)
- 26-10 多重反射環境における再構成波面群を用いる直達波検出に基づく水中音響測位
◎齋藤大雅, 海老原格, 土屋充志, 佐藤裕治, 若槻尚斗, 善甫啓一 (筑波大), 吉原到 (あおみ建設)
- 26-11 Performance Evaluation of Biomimetic Ranging Signals Based on Finless Porpoise Clicks Using a Locally Optimal Detector (LOD)
◎Reza Prasetyawan, Hanako Ogasawara, Takanobu Kuroyama, Kazuyoshi Mori (National Defense Academy)
- 26-12 水中における三次元測位のための水深情報の音響伝送に関する基礎的検討
◎北野愛実, 海老原格, 土屋充志, 佐藤裕治, 青木拓也, 若槻尚斗 (筑波大), 吉原到 (あおみ建設)
- 26-13 大型実験水槽における複数の音響灯台からの直達波到来時間を用いた水中音響測位精度の基礎的検討
◎桐山泰誠, 海老原格, 土屋充志, 佐藤裕治, 青木拓也, 若槻尚斗 (筑波大), 吉原到 (あおみ建設)
- 26-14 AFM 感度補正信号を用いた水中物体 3 次元方位測定について
◎青野陽人, 陶良 (千葉工大)
- 26-15 SOQPSK 変調方式における狭帯域 ISI の抑制効果についての実験的検討
◎清光大樹 (千葉工大院), 陶良 (千葉工大)
- 26-16 RLS-DFE 強制対角化法の理論的解釈の検討
○出口充康, 樹田行弘 (海洋研究開発機構)
- 26-17 直交信号分割多重を用いる水中音響通信におけるドップラー補正のための最適な周波数分解能の検討
◎中村恵介, 海老原格, 土屋充志, 佐藤裕治, 青木拓也, 若槻尚斗 (筑波大), 吉原到 (あおみ建設)
- 26-18 造波水槽による水面の周期変動が通信路のインパルス応答とドップラー特性に与える影響の解析
◎吉田旬之介, 海老原格, 若槻尚斗, 前田祐佳 (筑波大)
- 26-19 浅海域音波伝播シミュレーションにおける音速構造および海底地形の影響
◎川崎陽暉 (九州大総理工), 広瀬直毅 (九州大応力研)

15:30~15:40 休憩

15:40~17:00 口頭発表Ⅱ 座長：土屋健伸（神奈川大）

26-20 変分法を用いた固有音線経路計算による実海域音波伝搬シミュレーション

◎土屋充志, 海老原格, 佐藤裕治, 青木拓也, 若槻尚斗（筑波大）, 吉原到（あおみ建設）

26-21 放物面鏡を用いる水中音響ベッセルビームを形成のための基礎的検討

◎千野和義, 海老原格, 若槻尚斗, 佐藤裕治, 土屋充志（筑波大）

26-22 中部海域の震源域における震動の定量化と可視化

○菊池年晃（防衛大）

26-23 独立成分分析処理による分離信号の時間反転処理音場の加算による目標位置推定

○鶴ヶ谷芳昭（三陽精工）, 菊池年晃（防衛大）

17:00~17:10 休憩

17:10~18:10 口頭発表Ⅲ 座長：海老原格（筑波大）

26-24 マルチチャンネル DFE の位相追従性向上による遅延波抑制

◎四方田彩花, 樹田行弘, 出口充康, 渡邊佳孝（JAMSTEC）

26-25 極浅海域における水中通信路のインパルス応答の時間変動と音速分布の関係に関する基礎的検討

◎小野皓大, 海老原格, 若槻尚斗, 土屋充志, 佐藤裕治, 青木拓也（筑波大）, 吉原到（あおみ建設）

26-26 Development of Underwater Acoustic Modem Based on Code-Frequency-Time Division Multiple Access

○Chenggao Han, Xiaozhong Zhang, Takeshi Hashimoto (Sigcode), Naoki Suehiro (Signal Design)

19:00~21:00 懇親会・ベストポスター賞授賞式

第2日 5月19日(火)

09:10~10:30 口頭発表Ⅳ 座長：佐藤裕治(筑波大)

26-27 複数の音響機器によるガスプルーム計測手法の高度化：一佐渡北東沖における SBP・MBES-WCD 解析—

○横山心一郎(海洋エンジ), 下野貴也(海洋エンジ, 日本海洋), 青山千春(海洋大), 浅田昭(東大)

26-28 海鷹海脚メタンプルーム湧出域における Waterfall Display 手法を用いたクレバスの高分解能マッピング

○下野貴也(海洋エンジ, 日本海洋), 横山心一郎(海洋エンジ), 青山千春(海洋大), 浅田昭(東大)

26-29 多重反射環境における到来時間群のデータベースと反射信号を活用した水中音響測位に関する基礎的検討

◎今津直人, 海老原格, 土屋充志, 佐藤裕治, 青木拓也, 若槻尚斗(筑波大), 吉原到(あおみ建設)

26-30 白色化相互相関関数と再構成波面群を用いる水中音響測位の基礎的検討

○佐藤裕治, 海老原格, 土屋充志, 青木拓也, 若槻尚斗(筑波大), 吉原到(あおみ建設)

10:30~10:40 休憩

10:40~11:40 口頭発表Ⅴ 座長：甘糟和男(海洋大)

26-31 近距離における有鰮魚のエコー波形シミュレーション

○甘糟和男(海洋大), 伊藤雅紀, 西森靖(古野電気)

26-32 Uncertainty-Aware Acoustic Biomass Estimation of Whiteleg Shrimp Using Monte Carlo Simulation

○Po-Yuk So, Jen-Ming Liu (NKUST), Tohru Mukai (Hokkaido Univ.), Kouichi Sawada (FRA), Naizheng Yan (Hokkaido Univ.)

26-33 Acoustic characteristics of Sakura shrimp (*Sergia lucens*) in water off Southwest of Taiwan

○Jen-Ming Liu(NKUST), Po-Yuk So (Hokkaido Univ.), Hendra Setiazi (NKUST)

11:40~13:00 昼休み

13:00~14:00 特別講演

水中ビークルの運動制御と魚類型ロボットの開発

山口 悟(九州大学)

14:00~14:10 休憩

14:10～15:30 口頭発表Ⅵ 座長：三島由夏（海洋大）

26-34 人工筋肉によって推進する生物模倣ロボットの放射雑音計測データに対する予備解析結果

○森和義，黒山喬允，小笠原英子（防衛大）

26-35 バッテリー推進型無人水上機をプラットフォームとした背景音計測

◎本多栄汰朗，三島由夏，甘糟和男，久保響輝（海洋大），今井大蔵，岩田至，浅原俊宏（海洋エンジ），龍田隆明，伊藤孝宏，堺理紗子（日本海洋）

26-36 対照学習と類似度検索を用いた少数例条件下における生物音検出

○中川友進（JAMSTEC，早大），赤松友成（早大），大泉宏（東海大），吉田弥生（人環大），小川真由，松岡大祐（JAMSTEC）

26-37 日本南岸域における海底ケーブル型地震観測網による低周波鯨類鳴音の検出

○岩瀬良一（JAMSTEC）

15:30～15:40 休憩

15:40～16:40 口頭発表Ⅶ 座長：出口充康（JAMSTEC）

26-38 ドップラーシフトに強い直接拡散方式水中音響通信の試験評価

○吉澤真吾（北見工大），白銀和浩（JMU ディフェンスシステムズ），齋藤隆（多摩川電子）

26-39 水中音響通信信号を用いた適応チャンネル推定とチャンネルリプレイについての検討

○樹田行弘，出口充康（海洋研究開発機構）

26-40 8000m 級 AUV 用音響通信測位装置の大深度海域における試験結果

○渡邊佳孝，四方田彩花，出口充康，樹田行弘，岩下和矢，中谷武史，志村拓也（海洋機構）

16:40～17:00 優秀論文発表賞授賞式 閉会

学会誌 4 月号掲載の内容と一部違うものがあります。こちらが最新のものとなります。